

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-009

PDCA	事務事業名	感染症予防事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当	木村	
					内線等	84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： 1. 健康づくり 単位施策： (3) 疾病予防・感染症に対する取り組み 個別施策： ②感染症予防・対策の推進					
	根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
	対象・目的	15歳以上の市民を対象に胸部レントゲン撮影を行い、結核検査を実施する。 これは、結核の蔓延予防を目的とする。 39歳以下の市民には、尿検査・血圧・血液検査などの健康診査を追加で実施する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市医師会に委託し、各地区公民館等公共施設で15歳以上の人を対象に胸部X線検査等を実施。啓発については、市報、回覧板、ホームページ等を実施記事を掲載する。 また、35歳から39歳の国民健康保険加入者に対して個別受診勧奨を行い、結核定期健診（住民健康診断）の受診を促す。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	31年度	2年度	単位	
		①定期健康診断の実施回数	16	16	16	回	
		②受診者数	2,811	2,549	2,595	人	
		③					
		事業費	6,557	6,224	6,221	千円	
		人件費	2,498	3,726	7,213	千円	
		総事業費	9,055	9,950	13,434	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	31年度	2年度	単位	
	①健診1人あたりのコスト	3.22	3.90	5.18	千円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①65歳以上国保加入者受診率	実績値	8.79	7.19	7.00	%
		目標値	—	9.50	9.50		
②39歳以下国保加入者受診率		実績値	4.53	4.26	4.73	%	
目標値		—	4.65	4.65			
③		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		令和元年度に住民健康診断を受診した市民（2,499人）に、継続受診を促すため、個別勧奨を実施し、受診者数が46人増加した。 しかし、若年層の受診者が少ないのが以前からの課題である。					
	A 課題解決のための	今後の事業の方向性	改善推進				
			特に若年層の健診の受け皿となるよう、より効果的なPRや実施時期、実施場所を再検討し受診者数増を目指す。				
		令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①65歳以上国保加入者受診率	9.50	%		
②39歳以下国保加入者受診率	4.65		%				